

## 動脈硬化症による腸の病気！？

### 虚血性腸疾患の話

腸に栄養を送る腸間膜動脈の血流障害により腸管の虚血性変化や壊死性（「腸が腐る」）変化を主体とする疾患があります。

臨床経過（急におこるか、ゆっくりおこるか、など）、虚血におちいる部位（動脈か、静脈か、小血管か、など）などによりいくつかに分類されます。

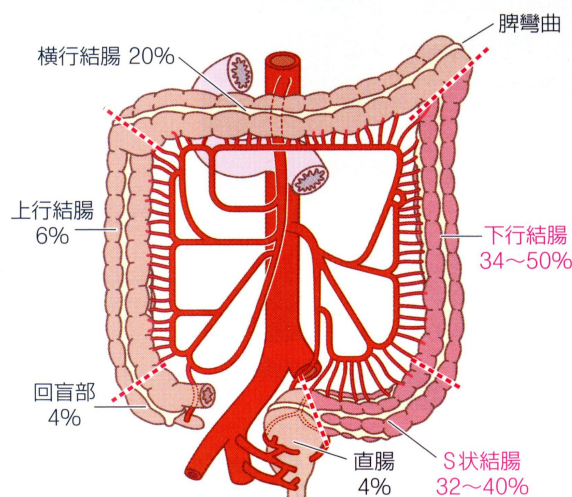
代表的な病態として、「虚血性大腸炎」「急性腸間膜動脈閉塞症」「腸間膜静脈閉塞症」「非閉塞性腸間膜虚血（NOMI）」「腹部アンギーナ（慢性腸間膜虚血）」などがあります。

#### 虚血性大腸炎

50歳以上の高齢者、便秘がちの人に好発します。

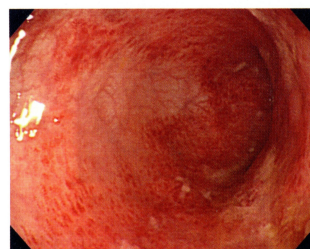
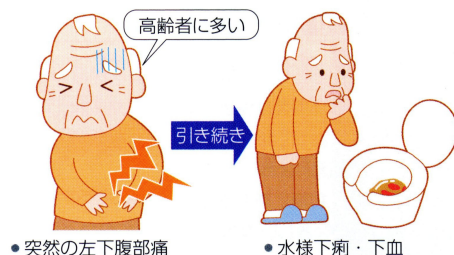
大腸の小血管領域の血流障害に伴い、大腸粘膜に限局性の虚血性変化をきたす病気です。

血管吻合が他の領域に比べてやや粗で、血流低下を補いにくく虚血におちいりやすい左側の結腸（下行結腸）からS状結腸に好発します。（図右）



#### 症状および経過

突然の左下腹部痛。それに引き続き下痢、下血。通常は一過性で、1～2週間のうちで軽快。



#### 診断

診断の第一選択は内視鏡検査です。

区域性に発赤、浮腫、粘膜下出血、びらん等が認められ、典型的には病変、潰瘍は縦走傾向となります。（図右上）

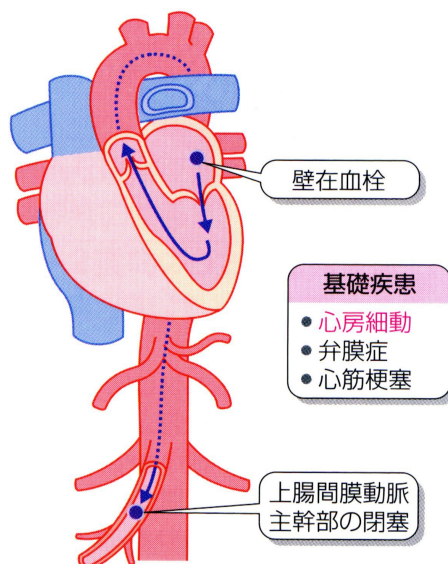
#### （急性）腸間膜動脈閉塞症

小腸や大腸に栄養を送る比較的大きな動脈の、主に上腸間膜動脈が血栓でつまって、小腸の大部分と大腸の一部が腐ってしまう病気です。多くの場合、何の前触れもなく、突然に起こります。

脳梗塞や心筋梗塞と同じように、原因は動脈がつまることであるため、動脈硬化や不整脈のある高齢の人に起こりやすいことが特徴です。

「血栓」の原因は心房細動や弁膜症などの心原性血栓による「塞栓症」が半数以上を占めるとされています。

（図右）



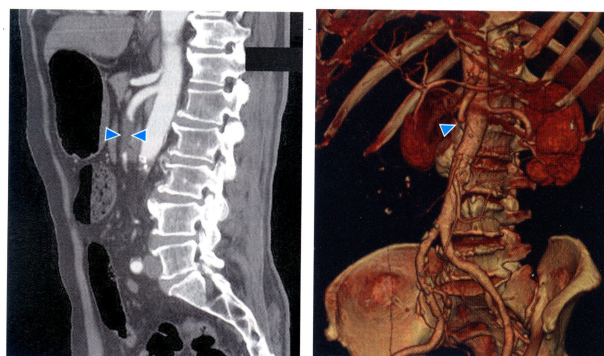
症状としては、早い段階で、腹部全体に激しい腹痛を感じます。さらに腐った腸管から毒素が出てきて、ショック状態を起こします。そして急速な経過で、生命に危険が及んでくるのです。

診断には、腹部造影CTが有用です。上腸間膜動脈の造影欠損、腸管壁の肥厚や造影不良がみられます。

図 右：

(左) 矢状断 再構成像  
上腸間膜動脈の閉塞（矢印）がみられます。

(右) 3D CT像  
立体的画像で、同様の所見がみられます。



＊「急性腸間膜動脈閉塞症」と「虚血性大腸炎」では、閉塞する血管などで相違し、診断のための検査方法、治療方針、予後も異なり鑑別が必要です。（図下）

|      | 急性腸間膜動脈閉塞症     | 虚血性大腸炎                |
|------|----------------|-----------------------|
| 閉塞部位 | 中枢（太い動脈の閉塞）    | 末梢（細小血管の可逆的閉塞）        |
| 患者背景 | 心房細動など心内血栓がある例 | 高齢者に多い                |
| 症 状  | 激烈（腹痛⇔腹膜刺激症状）  | 腹痛⇔下痢，下血              |
| 検 査  | 腹部造影CT         | 内視鏡                   |
| 治 療  | 緊急手術           | 保存的治療<br>（壊疽型では手術を考慮） |
| 予 後  | 不 良            | 良 好                   |

## 腹部アンギナ（慢性腸間膜動脈虚血）

| 疾 患 | 急性腸間膜動脈閉塞症                                                                                          | 腹部アンギナ                                                                                |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 病 態 | <p><b>血栓症</b></p> <p>●主に心臓にできた血栓が流れてきて血管に詰まる。</p> <p><b>血栓症</b></p> <p>●腸間膜動脈自体の動脈硬化に伴い、血栓が詰まる。</p> | <p>●腸間膜動脈自体の動脈硬化により血管が細くなっているが、詰まってはいない。</p>                                          |
| 症 状 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●突然の強い腹痛，腹部膨満感，嘔吐，下痢，</li> <li>●進行すると腹膜刺激症状，ショック。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●食後1時間以内に始まる腹痛。</li> <li>●1～3時間で軽快。</li> </ul> |

腸間膜動脈が閉塞する場合が、「急性腸間膜動脈閉塞症」、閉塞していないが血管内腔が狭窄し症状をおこす場合が、**腹部アンギナ（慢性腸間膜虚血）**です。（図左）

食後などに腸管運動が活発となり酸素需要が増すことで相対的な虚血になりますが、腸管壊死にはいたりません。

同じく動脈硬化症に起因する心臓の病気では、「心筋梗塞」が急性腸間膜動脈閉塞症、「狭心症」（「アンギナ」とも呼ばれます。）が**腹部アンギナ**との関係に似ています。

虚血性腸疾患のなかには、さらに予後が不良な「**非閉塞性腸間膜虚血（NOMI、non-occlusive mesenteric ischemia）**」という病態があります。

腸間膜動脈が閉塞に至っていないにもかかわらず、腸管が壊死に落ちいる病態です。ショックに伴う血流低下や血管攣縮（れんしゅく）などが原因となります。

図は、「病気がみえる vol.1 消化器」<MEDIC MEDIA>から引用しました。

この「診療所だより」や診療についての御意見・ご要望などをお気軽にお寄せ下さい。  
これからの参考にさせていただきます。

編集・発行： 勝山諒亮

勝山診療所

〒639-2216 奈良県御所市343番地の4（御国通り2丁目）

電話： 0745-65-2631